

# 乙女峠から箱根外輪縦走ハイキング

開催日：2024年9月14日（土） 晴れ 健脚LV2 歩数：2万歩 距離：11km

集合：箱根登山鉄道箱根湯本駅 8時45分

コース：箱根湯本駅バス停（9時10分）→乙女口バス停→登山口（標高735m）→  
乙女峠（標高1005m）→丸岳（標高1156m 昼食）→富士見台（標高1000m）→  
長尾峠（標高911m）→箱根スカイライン料金所（標高957m）→長尾峠→長尾峠登山口→  
湖尻水門→桃源台<sup>（木）</sup>（標高740m）（バス）→小田原駅バス停

参加者：市村（L） 河野（SL） 佐藤し（SL） 勅使河原 熊坂 畠 三田 松本 大城 高津佐 亀田  
飯倉 計12名

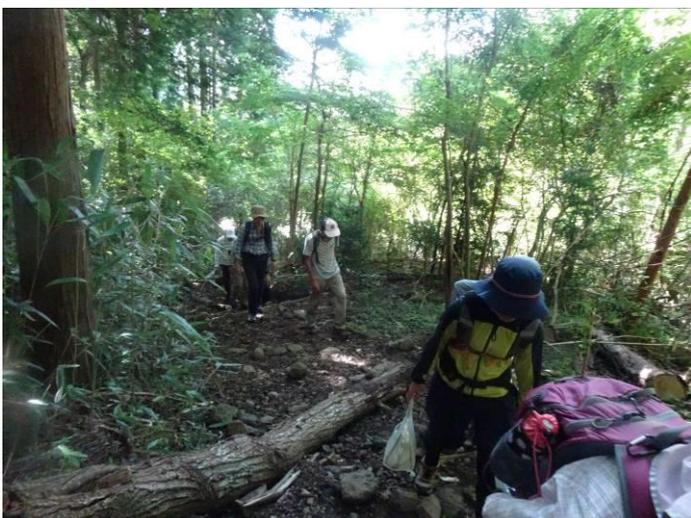
湯本駅バス停の気温は29.8℃、真夏日直前の高さ。バスを下車した乙女口は26℃と少し低目でしたが、陽が高くなるにつれて気温も上がり、乙女峠までの上りは身体に負荷がかかりました。乙女峠から尾根道を歩き汗びしょり、無線中継塔があるこの日の最高峰標高1156mの丸岳山頂を踏破。お昼の時間帯で気温は27.3℃、おそらくこの日の縦走路での最高気温だったと思います。

青空の下でのおにぎりが美味しい。昼食後、ここからがこの日の絶景ポイント。芦ノ湖、三国山などの箱根外輪山、遠くに伊豆半島と駿河湾などの景観を楽しみながら、箱根スカイライン料金所までの箱根外輪縦走です。神奈川景勝50選の長尾峠から芦ノ湖畔の湖尻水門～桃源台へ、事故なく楽しく下山。達成感、連帯感深まる「夏」ハイキングでした。



# 湯本駅バス停 9時10分～9時43分 乙女口バス停 9時57分スタート

標高96mの箱根登山鉄道箱根湯本駅に12人が集合、気象情報どおりの晴れ。全員集合してバス停へ、アスファルトの照り返しで気温が高く29.8℃。御殿場アウトレット行き9時10分発に乗車、ほとんどが登山客。9時43分、乙女口バス停で下車、私たちの他にも登山者数人が下車。標高735mの登山口広場へ、気温は湯本より3.8℃低い26℃。気温は標高100mで0.6℃下がるので計算通りです。河野SLのリードでストレッチ、市村Lがコース説明。9時57分、先頭佐藤SL、最後尾河野SLでスタート。いきなりかなり急峻な上り、猛暑の夏であまり歩いていない人にはかなりきつい上りになりました。



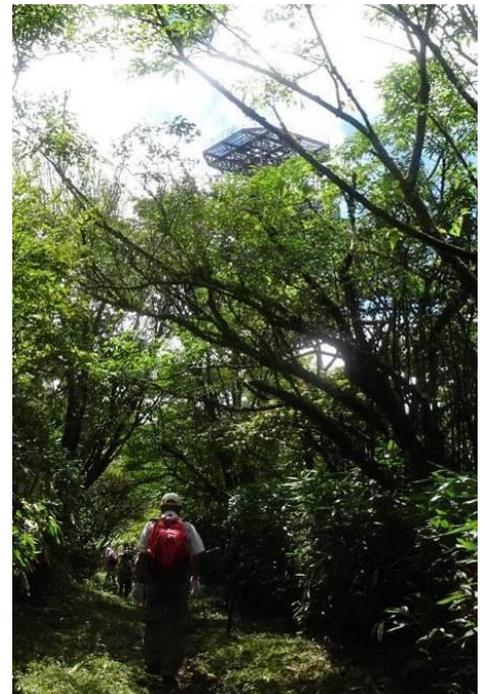
## 杉木立登山道～ガレ場～ 10時43分 乙女峠（標高1005m）

杉木立の中、比較的整備された登山道を上って行きます。下界よりも気温低いとはいえ汗が噴き出てきます。平らなところに出たので水分補給の小休憩。登山道は次第に狭くなり、ガレ場も出てきました。息もだいぶ上がってきたところで、もう一度水分補給の小休憩。「乙女峠まではあと一息」と再スタート。上ること十数分、先頭の佐藤SLが「乙女峠が見えました～」。10時43分、270m高度を上げて標高1005mの乙女峠に到着。乙女峠バス停から上って来た登山者、金時山から下りてきた登山者やランナーが大勢休憩しています。私たちもここで水分補給と休憩、衣類はビショリです。展望台からは、雲の上に山頂が見える富士山と裾野の御殿場市が一望できました。乙女峠の由来が「昔、仙石原の娘が父親の病気を治そうと峠の先の地藏堂に日参し、満願の日に父親の病気は治りましたが、彼女は雪に埋もれて死んでしまったと伝えられています。彼女の霊を哀れみ乙女峠と呼んでいます」と記されていました。甘いお菓子の差し入れと水分補給で英気を養い、集合写真を撮影。逆光で少し残念な写真になってしまいました。



## 乙女峠 10時56分～尾根道～ 11時38分丸岳（標高1156m）

10時56分、乙女峠をスタート。ここから箱根外輪縦走、ほぼ南西方向の丸岳をめざします。佐藤さんを先頭に尾根道を上ります。50mごとに立てられている箱根町の歩道管理標がNO. 138を表示。15分ほど上って小休憩。木立に覆われた尾根道のアップダウンを繰り返し、次第に高度を上げていきます。前を歩く勅使河原さんの上前方に無線中継塔が見えてきました。木立の中を歩いて行くと展望が開けてきて11時38分、標高1156mの丸岳山頂に到達。気温は歩き始めて最高の27.3℃、明神ヶ岳、神山、芦ノ湖を一望。赤とんぼが群れていて風が吹き抜ける心地よい山頂。少しずつ秋が近づいてきているようです。



## 丸岳山頂無線中継塔下でゆったり昼食タイム 12時10分スタート

箱根外輪縦走や芦ノ湖畔などから見える丸岳山頂の無線中継塔、その下でゆったり昼食タイム。汗をかいて登って来た達成感、下界ではあまり気にしない青い空に白い雲が新鮮に見える至福の時間です。おにぎりが美味しい、甘いお菓子の差し入れが疲れた身体に嬉しい。12時10分、長尾峠をめざしてスタート。



## 伊豆半島と駿河湾、沼津アルプスを一望～12時30分 富士見台

山頂を出ると笹藪越しに絶景が広がっています。左から芦ノ湖、三国山などの箱根外輪山、奥に伊豆半島と駿河湾、その手前に見える低い山並みは沼津アルプス、中央部に広がる市街地は沼津でしょうか。丸岳から長尾峠までがこの日の絶景ポイント、笹藪越しに景色を眺めながらの緩やかな尾根道下りです。軽やかな足取りで150mほど下りて12時30分、標高1000mの富士見台に着きました。



## 長尾峠(標高911m)～12時58分 箱根スカイライン料金所(標高957m)

アザミの花に蝶がとまっています。人懐こい蝶なのか、熊坂さんが手を差しのべると指にとまりました。蝶はツマグロヒョウモンチョウで「これはオスで、メスは羽の先に黒い模様があります」(熊坂さん)とのこと。水分補給をしてスタート、10分ほど歩いて標高911mの長尾峠まで下りてきました。少し上って12時58分、標高957mの箱根スカイライン料金所へ。トイレ休憩と水分補給、きれいなトイレで冷房が効いている快適空間でした。雲がかかっていましたが富士山を背景に、笑顔の記念写真撮影です。



## 料金所 | 3時17分~神奈川景勝50選長尾峠~14時8分 登山口

料金所付近の気温は26.9℃、富士山の景観を楽しみゆったり休憩をして13時17分にスタート。長尾峠までは歩いて来た道に戻り、分岐で外輪山を下ります。少し下りたところに「神奈川景勝50選長尾峠」の石碑が建っています。以前はここに茶屋があったようで、台ヶ岳やスキ原、芦ノ湖が一望できる景観の良いところです。昔の旅人もここで一息入れて峠を越えたのでしょうか。いまは御殿場箱根線の道路ができ、長尾隧道を抜ければ御殿場の街です。ここからは木の根の張った下り、みなさん足元に注意しながら下りて行きます。14時8分、渋沢栄一らが開いた牧場の「耕牧舎跡」がある長尾峠登山口へ下山しました。



## 登山口～湖尻水門～15時20分 桃源台 歩数2万歩 距離11km

まずは無事下山でほっと一息、アスファルト道の長尾林道を歩き湖尻をめざします。振り向くと丸岳の無線中継塔が見えます。「あそこまで登ったのね」と感慨ひとしおです。左側を早川が流れています、といっても水はほとんど流れていません。早川は芦ノ湖を水源としていますが、水利権は静岡県にあります。深良水門から江戸時代に造られた1280mのトンネルで、静岡県側に芦ノ湖の水を流して田畑を潤しています。早川には、芦ノ湖の水が増したときに湖尻水門から流されます。写真の早川の流れは、6月17日の下見のときのもので、6月14日と15日の大雨で芦ノ湖の水位が上がり放流されていました。14時53分、湖尻水門脇の広場に到着。河野さんのリードでクールダウン。水門の上を歩きます、下流側は水がありません。写真は6月17日のときのもので、すごい勢いで放流されていました。15時20分、桃源台に着きました。歩数2万歩、距離11kmの夏を思わせるハイキングでした。

